

県連ニュース

2018年 12月号 NO-497



滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	エッセイ	2
報告	第9回 理事会議事録	3
	第56回登山祭典 各会報告	
	滋賀山友会	7
	湖南岳友会	8
	比良雪稜会	9
	彷徨倶楽部	10
	ちごゆり山歩会	11
	ハイキングセミナー報告書	12
	ぐうたら理事長のつぶやき	15
予 定 表		16

表紙の写真 2018/11/03 撮影

『鈴鹿茨川の錦秋』

滋賀山友会所属 北川 享子さん提供

— エッセイ —

「今を ? 倍楽しむ」

彷徨倶楽部:高田 忠雄

子供のころ、担任の先生に「復習と予習をちゃんとするように」と、よく言われたものだ。復習すれば、ならったことも再認識しながら覚えられるし、予習をしておけば、その日の授業もよく理解できる。なのだが～そのせいで、肝心の授業をいいかげんに受けていたようなことが、ぼくにはあったと記憶する。たまたま予習をしていた日の授業などは、あまり集中せず、ほかの事を考えていた時間の方が多かったような気がする。

「明日できることを今日するな」とは、どこか外国のことわざと記憶がある。聖書に「明日のことを思いわずらうなかれ。今日のことは今日にて足れり」とあると耳にしたこともある。学生時代を振り返ると、中学校の時に高校進学のことを、高校では志望の大学に入れるかどうかと気をもみながら過ごした。ぼくは志望の大学へ入学内定していた後になって、家の事情であきらめざるをえなくなったとき、気落ちしながらも、あわてて明日からの自分のことを気にしながら毎日を過ごした。社会人になっても、早く仕事が終わったあとは楽しめばいいのに、それなら～と明日の仕事を考えたり手をつけたりしていた。そういうことをいつもやっていると、気持ちのほうが、昨日だったり、今日だったり、明日だったり、今現在が、ぞんざいになりがちになっていたようにも思う。退職後ももしばらくは、そんな気持ちを記憶しながら～ひきずりながら～これではあかんなあ～と。一日一日はこれっきりと思って、今日という一日をよく生きなければ～と思ってきた～時、人生はすでに終盤である。野球でいえば、7・8回裏表になっているか～。

最近、散歩のときなど今にひたろうと～目にとまるもの。色彩。その香り。声音。手ざわり…。 そんなひとつひとつに、今というひと時がいきいきと感じられるのだが、不意に思い出したくもないことや、心配事が頭をかすめたりする。この時の対処を誤ると、たちまちどうしようもない過去へと引き戻されて、またズルズル考え、抜け出せない～。過去の、今どうしようもないことや、明日や、その先の事まで考え～あの時なあ、とか どうするか？とか、やらんとあかんかなあ～とか、思いがちである。

そこで、ぼくは試みている。頭に浮かんだ望まない事柄については、すぐに「考えこむな～」と。吸い込んだ息を吐くのと一緒に、体の外へ出すようにすると、その事柄は、たちまちあいまいになって、頭へ働きかけてくることもなくなる。そうして空を見上げたり、木々を眺めたりしていると、心身が自然と溶け込んで行けるので、今を保つことができる。

散歩の心得である。今を何倍も楽しめること間違いない。

おわり

2018 年度 第 9 回理事会議事録

2018.11.8(木) 19:00～20:10 於: 県連事務所

出席: 北村、友永、濱、池田、中島、高玉、東郷、今村、宮内、古川、三崎(記録)

欠席: (連絡あり) 秋田、奥野、番浦、川端 (理事会定数 15 名)

(議題)

1. 登山祭典(報告)

- ・日程: 10/28(日)
- ・担当: 組織部(池田、川端)
- ・参加者数: 会員 76 名、一般 39 名、子供 7 名。(合計 122 名)
- ・県連ニュース 12 月号掲載→各コース
- ・感想: 一般参加者が多数有り、盛り上がり終えることができました。

特に多かったのは比良雪稜会で 21 名でした。

アルコールを持ってきておられる方がいた。

比叡山(岳友会)では 2 名の入会があった。

2. 清掃登山

- ・担当: 自然保護部(中島、古川)

スケジュールの確認

3 月中旬 自治体(11)その協力団体(9)に依頼。岩雪、好日山荘に広告依頼等

3 月下旬 各会コース等決定依頼

4 月中旬 自治体首長のメッセージ回答期限。チラシ原稿の作成、印刷発注

4 月下旬 チラシ 1600 部を自治体、関係団体、県連各会に送付コースを各会で決める

5 月上旬 しおり、リーダーの手引きの内容を各会に確認

5 月中旬 しおり、リーダーの手引き原稿作成、印刷、発送

6 月上旬 報告文、写真まとめ

6 月中旬 会計報告書作成。自治体、協力団体に報告書送付

3. 各部報告

組織部: 会員動向(前年度末対比 205/214 95.8%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
73/74	54/54	45/45	12/12	16/16	5/5
合計 2018.10E/2018.9E					
205/206		99.5%			

・12月には11月末の男女別会員数を知らせてください。全国連盟に報告

・2019年労山カレンダー申し込み(定価800円) 31部注文

・第5回会員拡大タスクチーム・会議録

日 時 2018年10月23日(火)午後7時～8時

出席者 友永(理事長) 北村(事務局長) 金原(滋賀山友会) 川端(湖南岳友会)
濱(彷徨倶楽部) 池田(滋賀山友会)

議 題 タスクチーム会議を通算5回開催して、勧誘ピラの作成を中心に会員拡大の取り組みを行った。今回で会議は終了とします。

- ①勧誘ピラは、6000枚納品。一枚2円。県連を構成している6団体に手渡し活用を要請した。滋賀山友会(200枚) 湖南岳友会(200枚) 比良雪稜会(200枚) 彷徨倶楽部(50枚) シャクナゲ(20枚) ちごゆり(50枚)
- ②県連理事が、自分の地元の公共施設等に置いてもらうように働きかけた。
- ③赤旗・日曜版に10月中旬に折り込みしてもらった。
大津市3000枚、草津市700枚(高島を省いて草津にまわした)
- ④京滋の登山用品店に、買い物客の袋に入れてもらうように依頼
(岩と雪50枚・あるむ50枚・好日山荘50枚・ロッジ50枚)
- ⑤滋賀県内の登山口6カ所にプラスチックケースを置き、勧誘ピラを置く
伊吹山(友永・高橋) 金勝アルプス(北村) 湖南アルプス(金原)
北小松(川端) 坊村(濱) イン谷(池田)
- ⑥滋賀県内のヤマト運輸の中継所に一般対象に勧誘ピラを設置

⑦登山祭典(10月28日)にピラを持参して一般参加者に配った。

※当初予定していた成蹊スポーツ大学への設置については、枚数が足りなくなった関係で見合わせる。

教育部:

- ・第2期ハイキングセミナー 3名申込
- 10/13 座学 事務所 5名参加
- 10/15 座学 事務所 2名参加
- 第1回 実技 音羽山 5名参加
- 第2回 実技 音羽山 6名参加予定
- 第3回 実技 音羽山周辺

遭難対策部:

- ・12/8 三上山初心者岩登り
- 5名申込

自然保護部:

- ・11/3 近畿ブロック自然保護山行・紀泉山脈メガソーラー建設予定地巡りに比良雪稜会から1名参加しました。自然エネルギーの為に、自然を破壊しなければならないことに疑問を感じたとの感想でした。

機関紙部:

- ・県連ニュース 12月号
- 原稿締切 11/15 印刷・発送 11/21

財政部:

- ・特になし

救助隊:

- ・特になし

SKI-NET:

- ・12月から始まる
- 県連ニュースに掲載

CSS:

- ・ステップアップ講座
- 10月1回実施
- 11月1回予定

4. その他

- ・12/2 金勝アルプストレラン大会について(主催者:近江湖南アルプス TRAILRUNRACE 実行委員会)意見があれば主催者へ連絡してください。
- ・11/23～24 全国登山研究集会 愛知県 参加費 8500 円(半額補助)
- ・会長人事:来期から考えるが人選が難しい。適任者がいれば連絡ください。
代表者会議(1月)の議題とする。
- ・近畿ブロック会議 10/17 19時～大阪府連事務所(友永)急用で欠席
- ・11/10 八ヶ峰～五波峠～中山谷山トレイルの参加者募集の案内
- ・近畿ブロック雪崩講習会(ビーコン・理論・実技)参加者募集
(県連ニュース 10月号掲載) 申し込み担当者:県連・今村
- ・日本山岳文化学会 2018年度大会 東京慈恵医科大学
11/17(土) 13時～14時 ショートスピーチ「山岳救助犬の導入に向かって」
11/18(日) 9時～12時 シンポジウム「遭難と情報」
- ・来年の総会資料作成
議案のまとめ 12/20 締切。1月10日理事会(今年度の反省)
1月24日(来年度の計画) 2月7日(代表者会) 3月10日定期総会
●次回 第10回理事会 12月13日(木)19:00～

2018年度 登山祭典「太神山」 報告

滋賀山友会

日 時 2018年10月28日(日) 天候 晴

参加者 21名 (会員16名 一般5名)

コースタイム

石山駅バス停 8:25—湖南アルプス登山口 8:50—出発 9:30—迎不動 9:55—

泣不動 11:04—二尊門 11:19—太神山(不動寺本堂太神山二等三角点) 11:36

昼食 出発 12:38—矢筈ヶ岳分岐 13:05—矢筈ヶ岳 14:00—御仏河原 14:50—湖南アルプス登山口 15:30 バス乗車 15:55—石山駅バス停 16:15

公開山行から夏山集中と天候に恵まれず、今回も中止になるのかと危ぶまれた登山祭典であったが、快晴のもと実施することができた。当日、一般の不参加者が4名出て、一般5名という参加者数であった。この中にはA元会員の小学生と幼稚園の子どももおられ、将来が期待される。受付終了後、A元さんの指導により準備体操を入念に行い、1班からスタートした。迎不動を過ぎ七曲りの急坂を登り、全員快調に歩を進めた。途中に地藏堂と泣き不動を見て二尊門に到着。寺務所を通過して急な階段を上り不動寺本堂(国の重要文化財)に到着。この階段もなか



なかである。寺務所まで戻り、昼食とした。それからは来た道を少し引き返し、矢筈ヶ岳分岐から尾根を伝い、最後の急登を終えピークにたどり着いた。後は御仏河原を経て富川道から、天神川沿いの来た道に戻り湖南アルプス登山口へと引き返した。そろそろ紅葉の始まる季節ではあったが、太神山は針葉樹が多く、木々が色づき始めた雰囲気は感じられなかった。

しかし歴史のある山の雰囲気を感じた1日であった。

(報告・Y 永)

56回登山祭典(湖南岳友会)比叡山回峰行の道

- 実施日:2018/10/28(日曜日)
- 天候:晴れ
- 参加者:会員21名 一般参加者5名 合計26名
- コースタイム:京阪坂本比叡山口集合8:00、出発8:10—根本中堂10:05(休10分)—
峰道レストラン広場昼食(豚汁)11:10~12:00—玉体杉12:30—
横川駐車場13:00—横川中堂13:25—八王子山、三宮宮と牛尾宮
14:45—京阪坂本比叡山口到着15:35
- 参加者の感想
 - ・近くにあつて、縁のなかつた比叡山。最高の秋晴れの中、少し色づき始めた木々や歴史ある建物を一日楽しめました。
 - ・久々に参加させていただいた登山祭典、気持ちのいい秋晴れのもと、ご一緒する方や、初めて参加された方々とおしゃべりを楽しみながら、比叡山回峰行の道を歩きました。具だくさんの熱々の豚汁は最高に美味しかったです!
 - ・お天気もよく、空の青さ、お堂や紅葉の朱色をめで、秋の気配を感じ、ごぼうたつぷりの豚汁も美味しく、私の五感もフル回転。楽しい山行でした。
 - ・久々の山行は、登山祭典でたくさんの人達とご一緒の楽しい時間を過ごせて嬉しかったです。晴天の中、総勢26名は華やかでした。ワイワイガヤガヤと言いながら、比叡山の雄大な景色と木々、所々の紅葉そして鐘の音を聞きながらの山行は豊かな気分になります。
 - ・秋深まる中、大勢の仲間と共に回峰行道を歩けた喜びは大きいです。一般参加の方からも会員申込みがあつたと聞きます。うれしいニュースです。
 - ・風もないのに木の葉が散る。鬱蒼とした樹林を震わせて鐘撞堂の鐘が鳴る。道行く人は足を止め、蒼天をかける鳥を追う。ああ、今日も元気で楽しく一日が暮れて行く 比叡山の秋。



表参道、いざ行かん、エイ、エイ、オウ!



玉体杉で円陣組んで全員集合

登山祭典兼野点山行報告 己高山 922.6m

比良雪稜会

日時 2018年10月28日(日) 天候・晴

参加者 会員23名・会員家族2名 一般19名 合計44名

7:05 JR 小野駅を貸切バスで出発＝和邇駅＝8:30 道の駅あじかまの里にてトイレ休憩、受付、持ち物の分担等(～8:45)＝9:10 己高庵下の駐車場 9:20 出発～六地藏～牛止の岩～12:00 鶏足寺跡・昼食&野点 13:15～13:35 己高山山頂～778P～532p～16:20 鶏足寺(旧飯福寺)～16:30 駐車場＝和邇駅・小野駅・堅田駅 17:10

昨年雨天中止となった己高山、リベンジの今年も度重なる台風上陸で心配されましたが、鋸持参で下見作業の熱意が通じたか当日は気持ちの良い秋晴れ。

3班に分かれ出発。登山道のところどころにその爪痕を感じつつも進行に問題はなく、急登に大汗をかきながら 700mまで登りつけば眼下に湖北の平野が広がり爽快な一息。少し穏やかになった尾根をさらに登ること 40 分で鶏足寺跡到着。下見時には薄暗かったというこの場所も木漏れ日が差し込む美しい景観、風もなく時間は計ったように正午。当初予定の山頂まで行かずに昼食＋野点と決定。

前回までは水筒のお湯をそのまま利用していた野点も、今回はガス持参。

シュンシュンとお湯が沸き、一般参加の若い女性から力強い副会長まで、数名の手でお茶が点てられ、配られていく。お昼ご飯の間に冷えてきた体に、抹茶椀のぬくもりがありがたい美味しいひととき・・野点山行の醍醐味です。



鶏足寺跡にて 野点！



全員集合

ここからたった 20 分の山頂までがロープもある急登。またひと汗かいて賑やかに写真を撮った後はすぐに下山開始。南に延びる尾根はそこそこの斜度があるものの隙間から覗く伊吹山や色つき始めた葉や変幻自在の樫を楽しみながら 778P。今度は西に延びる尾根を 200m地点まで下がります、大きな倒木に道を阻まれた場所では迂回したり乗り越えたり。最後は茶畑に囲まれた山麓の石畳を歩いてバスが待つ駐車場に無事下山。

元会員の方、毎回野点に参加して下さる方との再会もうれしい一日でした。

(報告 小林)

<登山祭典>レポート

彷徨倶楽部 安土「繖山（きぬがさやま）」～ 能登川「猪子山」ハイキング

- 山行日 平成 30 年 10 月 28 日（日）
- 参加者
 - ・彷徨倶楽部メンバー 3 名
 - ・一般参加者 2 名
 - ・滋賀山友会メンバー 1 名 計 6 名
- コース JR 安土（9:00）→風土記の丘（9:50）→繖山（きぬがさ山）
雨宮龍神社（12:00）→猪子山 →JR 能登川（14:00）
- 報告

スカッと晴れ渡るお天気となり、絶好のハイキング日和となりました。参加者は全員で 6 名。道は全体的に歩きやすい丸太道でよく整備されており、その丸太道は当日も作業の方がいらっやってまさに現在進行形で山道の整備が進められていました。尾根道からは進行の左側に能登川の田園風景、右側には五個荘の家々を広く望むことが出来ました。登り始めて約 1 時間で、繖山頂上に。尾根歩きは楽しいもので、西側の展望台（写真）からは、大中干拓農地、琵琶湖、その奥には比良山系が望めました。青空に映えてとても美しい景観です。

猪子山・北向岩屋観音さまエリアでは、展望の開けた東側で「タカの観測スポット」となっており、愛鳥家が望遠鏡をのぞき、「ノスリ（鷹の一種）」などのタカ渡り調査をされています。また同じエリアの西側では、何人ものカメラマンが大きな望遠レンズをつけたカメラを JR 能登川駅周辺に向け、当日走行した「蒸気機関車 SL 北びわこ号」が機関車に引かれ京都に戻っていく姿を追いかけていました。

そんなふういろいろな事に出会いながら、少し紅葉には届きませんでしたが、楽しい一日を過ごすことが出来ました。



（彷徨倶楽部 山元）

<第56回登山祭典報告>

きぬがさ
観音正寺と繖山

ちごゆり山歩会 田村大三郎

(実施日) 2018年10月28日(日) 晴れ

(参加者) 25名 内訳 会員11名、一般参加14名 (近江八幡市広報の応募者3名、
新日本スポーツ連盟の県関係者2名、子供4名を含む)

(報告) JR安土駅改札口で、ちごゆり山歩会の旗を掲げて出迎える(8:50)。

集合場所の駅南口から移動して、近くの公園で顔合わせをした。会長挨拶でケガに気を付けてほしい旨の話がありストレッチをして出発(9:10)。少し歩くと、民家の壁に紫のムベが数個なっていた。珍しい。住宅地を抜けて車道を歩き、繖山の西の麓に着き小休止(9:40頃)。以後、30分毎に小休止した。

車道の両側は竹林で涼しい。瓢箪山古墳の前を通り(10:00)、参詣車の料金所を過ぎて、時折来る車をよけながら、周囲の自然林を見て、秋のワンデイハイクを楽しむ。途中小休止し、水分補給とオヤツを頂く。長い参道を登る時、子どもを見ると、杖を探して低い段差を見つけて、登っていた。賢い。

観音正寺に着き、白檀の観音菩薩に参拝し、記念写真を撮る。(11:00~11:40)

寺の西側の道を歩き、観音寺城本丸跡に着く(11:50)。倒木が多い。「この城は源頼朝より近江守護職に任じられた、佐々木六角氏の城」と説明があった。少し引き返して、急な階段の道を歩いて、繖山山頂三角点に着き、昼食タイム(12:20~13:00)。標高433m、伊吹山、三上山、琵琶湖が見える。紅葉はまだだ。記念写真のあと、急な階段の道を下って、風土記の丘に着き、東屋風の建物で、ティータイム(14:00~14:30)。

この後JR安土駅へ向かう道で、7歳の子供が遅れ気味になり、話を聞くと、リュックの中に水筒と予備の水が入っているとかで、私より重い感じた。頑張ったと思う。
安土駅に15:00に着き、解散。

子供と一緒にの山行は初めてであったが、天気も良く、全員無事故で楽しかった。



音羽山(2018 年第 2 期ハイキングセミナー I)

2018 年 10 月 20 日 晴

(参加者) 友永、豊田 岳友会 南澤 雪稜会 齊藤、大村

(コースタイム)取らず

膳所駅---びわ湖放送登山口---鉄塔---音羽山---観音越---平尾---膳所駅

(報告)

膳所駅に集合しびわ湖放送へ向かう。小雨模様の朝だが天気予報を信じて出発。びわ湖放送への道すがら地図記号などを話す。びわ湖放送横の登山口に着く。びわ湖放送の電波塔を使って現在地を確認し出発。すぐ先の小さな沢の出合で現在地を確認する。谷の合流点・分岐点、尾根の合流点・分岐点、鉄塔などが現在地を確認する目安になります。次の地点は、谷が 4 つ合流し、大きく右に方向転換する所です。分かり易いと思います。そのまま谷沿いに進んで大谷からの尾根に合流する所で磁石の使い方を実施。方向を確かめ出発。鉄塔の所で送電線などの人工物は現在地の確認に最適な事を説明。さらに進み少し上の尾根の合流点でも確認する。次は地図に現れないピークについても説明する。緩いピークを越えて鞍部に出て位置を確認し東海自然歩道と合流し音羽山の山頂に着く。昼食をとっているとトレランの二人と、ハイキングのパーティが到着して賑やかになった。昼食後、東西の千頭岳を確認する。皆さんも磁石の使い方に関心を持ってきました。東海自然歩道を送電線や鞍部などを目印に位置を確認しながら進む。546m ピークの先の鞍部で自然歩道を別れ平尾へ下る尾根に行く。倒木のひどい所は新しく踏み跡が付けられていた。460+のピークを巻いて観音越まで下る。ここまで来れば皆さんもしっかり位置の確認が出来るようになったようだ。緩い尾根から 363m の手前で左の尾根を下り、二つの尾根の分岐と地図にないピークをしっかり確認して平尾に到着して講習を終える。後は膳所駅まで歩いた。

心配した倒木はしっかり整理されていて歩き易かった。下山に使った尾根の下部に少し倒木があって通過に苦労した。

一口感想

南澤(湖南岳友会)

今回、音羽山の地図を使って最初に座学で地図記号から習い、じっくり地形を読み込み、同じ地図で実際確認しながら歩いてみることで、とても理解が深まりました。

地図でこういう形になっている。実際の地形はこんな感じ・・・を何度も繰り返して見て行くうちに、だんだん目が地図になじんできて、今まではルートとコースタイムばかり見ていたのに、この頃は地形も見えるようになりました。まだまだ応用は出来ませんが、まだあと 2 回ある実践講習がとても楽しみです。

齊藤(比良雪稜会)

私は、以前からやりたかった読図の実践山行がかなって、本当に幸せな気分で、充実

した時間を過ごさせていただきました。地図と磁石を片手に歩くなんで、そして意味がわかるなんてカッコいい！ 一回一回地図と磁石を照らし合わせて教えていただきました。何回聞いても、怒らず、丁寧に教えてくださった友永さま、豊田さま、本当にありがとうございました。

私が谷のありか、ピークのありかなどを地図を見て探せるようになるには、まだまだ時間を要しますが、場数を踏んで地図の持つ複雑さに慣れて、いつか地図を読めるようになりたいと念じています。

この日は、台風の影響で倒木が多く、越えるのが刺激でしたネ。ご一緒してくださった皆様ありがとうございました。とても楽しく歩かせてもらいました。

音羽山(2018年 第2期ハイキングセミナーⅡ)

2018年11月10日 曇りのち晴

(参加者) 友永、馬場、豊田 雪稜会 大村、斉藤 岳友会 南澤

(コースタイム)取らず

京阪大谷駅—鉄塔—音羽山—460mP—若葉台分岐—観音口

(報告)

思ったより天気の回復が遅く曇り空の中を出発。蟬丸神社で水準点の説明をする。少し国道を歩き大師堂の横から集落を抜け墓地に出る。ここで簡単に記号の説明をして現在地を確認して谷沿いを進む。大津からの尾根に出て現在の確認をする。参加者に何故ここが現在地と判るのかを説明してもらう。ここから先も赤丸に出るたびに説明してもらう予定。進行方向を確認して出発。緩い尾根より少し急な登りを終えてピークに立つ。ここでも進行方向を確認して下る。下った鞍部より少し登り地図にある小さなピークを確認する。実際には言わなければ判らないと思う。短い急登を済ませ左からの尾根と合流して進む。緩いピークを幾つか越えて鞍部となり再び現在地を確認する。ピークの数も確認する。少し長い急登が続く、登り切ってから緩い尾根に行く。1回目にびわ湖放送から登ってきた所に出る。みんなが判ったか質問した。答えは…。鉄塔まで進み、ここで釈迦岳、武奈ヶ岳、蓬萊山、大尾山などを地図と磁石で確認する。遠くの山は少しだけ合せるのがズレても違う山となる。ひと騒動が終わって出発。ここからもピークの数と現在地を何度か確認して行く。東海自然歩道と合流するとすぐに山頂に着く。誰もいない山頂だったが、しばらくすると何組かの登山者達がやって来た。食事後、愛宕山、牛松山、ポ

ンポン山を確認する。遠くの山と重なっているとピークの確定が難しい。下山は東海自然歩道を干頭岳へ向かう。牛尾観音分岐、546m ピーク手前の鞍部で現在地を確認する。送電線など人工物も現在地の確認には役にたつ。次の鞍部で自然歩道と分かれて平尾への尾根に入る。前回倒木で通れなかった道も整備されていた。460m ピークから道は悪くなる。若葉台分岐までは少し尾根が曲がりくねっている。磁石で方向を確認して尾根の分岐を確かめて下る。若葉台分岐から若葉台に下る。しばらくジグザグに下って緩やかな谷となれば溜池に着く。ここで頭上に見えるピークが地図でどこなのかを調べる。みなさんも慣れてほぼ正解だった。溜池より下り観音越からの谷に出合う所を確認し、良くなった道を下り続け、車道に出て最後に堰堤横で現在地を確認してバス停に向かう。みなさんかなりマスターしておられると感じた。

一口感想

南澤(湖南岳友会)

二回目の実践山行では、コンパスで方向を見る事はだいぶ慣れましたが、地図の地形と実際の地形が分かりづらい場面が多々ありました。

もっとも地図と地形とをにらめっこして慣れなければと思います！

斉藤(比良雪稜会)

紅葉の木々の中の地図実践は大変楽しかったです。生徒 3 人に先生 3 人とマンツーマンでぜひいたくな講習となりました。

五万分の一の地図とコンパスで、釈迦岳や蓬莱山を探したり、音羽山の山頂で愛宕山やポンポン山の見当を付ける作業は、とてもじっくり丁寧に教えていただきました。前回で学習したことの応用編として、今いる位置から見えている山を地図で確認する事が加わって「あ～っ、ぼ～っとしていたらあかんよー！」と、自分に言い聞かせて焦りました。

前回とは違う杉が林立する奥深い谷を歩く事ができ、音羽山の懐の深さをしみじみと感じました。歩きながら三人の先生が経験された登山の話がまた、すごいもので興味はつきません。

大村(比良雪稜会)

ゆっくりと地図を見て、コンパスを当て進行方向が分かれば嬉しいです。

ぐうたら理事長のつぶやき

今年の登山祭典は好天に恵まれハイキング日和となりました。参加者も会員 76 名、一般 39 名、子供 7 名の 122 名の方が参加され無事に終える事ができました。ありがとうございます。

皆さまのご協力で今年度の主な行事も何とか終える事ができました。新しい試みを始めたとは思っていますが、残念ながら今の力ではなかなか進める事ができません。皆さまからのご意見をいただくと同時に、お力をお借りしながら未来志向の行事を始める事ができないかと思っています。ぜひご意見やご希望をお寄せください。

「死んでもらいたくない、私の仲間には」と言われた方がおられます。

全国連盟の知らせでは、最近続けて死亡事故を含む遭難が多発しているようです。人間はミスをする動物です。どんなに注意しても事故は起こるかもしれません。それを限りなく「ゼロ」に近づけるために、トレーニングをし、知識を蓄えるために学習し、少しずつステップアップを重ねつつ山行をする事で経験を積み重ねていくことが必要だと思います。同時に万が一事故が起こった時に備えて計画書を提出する事も大切だと思います。できれば参加者が集まってコースの概要や装備の検討など行って、自分たちがどんな山に行くのか、どんなルートをとるのか、事故が起こればどう対応するかなど、参加者全員が共通認識を持てればよいと思います。また集まらなくても、計画書を受け取れば自分なりにガイドブックや地図を開いて調べることも大切だと思います。どんな山に行くのか、どんなコースを歩くのか、リーダー任せにするのではなく、自分がリーダーになったつもりで検討すれば、安全性は飛躍的に高まると思います。今はネットの時代？です、情報はふんだんにあると思います。これからも無理のない計画で、十分にトレーニングをして、健康に留意して山行を実施してください。

前月に紹介した虚空蔵山ですが、早く帰宅する事になりましたので、少しショートカットしたいと思います。集合時間に変更はありません。

12月15日(土) 9時 藍本駅集合

コースは藍本～虚空蔵山～八王子山～山上山～草野、一部に岩場がある難路です。

参加していただける方は12月12日(水)までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

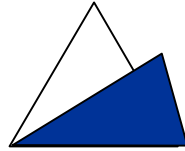
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名	
12			12	1	忘年会	山友	
				1	ダイヤモンドトレイル(久留野峠～杉尾峠)	彷徨	
	4	雪山基礎講座2019 オリエンテーション、CSS		8-9	ダイトレ縦走(葛城山～岩湧山)	岳友	
				8-11	香港の山	彷徨	
				9	己高山	岳友	
	13	第10回理事会		9	阿星山	雪稜	
				15	ミーティング	岳友	
				15	箱館山	雪稜	
				15	雪稜会忘年会	雪稜	
				15	京都・加茂、石仏めぐり	山友	
				15-16	ミーティング(忘年山行)	彷徨	
				15-16	総会・希望ヶ丘 忘年登山	ちご	
		16	高御位山(播磨アルプス)	岳友			
22-24	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)	22-23	谷川岳(天神平～天神尾根～谷川岳)	岳友			
		22-24	両白・赤兎山	山友			
28-1	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)	25	京都・加茂石仏めぐり	山友			
1			1	1	比良・権現山	山友	
				1	権現山	雪稜	
				3	京都・愛宕山	山友	
				5	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨	
				6	新春登山 愛宕山	岳友	
				6	新春登山 大文字山	ちご	
	10	第11回理事会					
	12-14	妙高スキー(スキーネット)		12-14	北八ヶ岳	岳友	
				12-14	比良・八雲ヶ原	岳友	
				13	武奈ヶ岳	雪稜	
				17	ミーティング	彷徨	
		18-20	志賀高原ゲレンデスキー	山友			
24	第12回理事会	26	ミーティング	岳友			
		27	雪山体験教室	山友			
		27	鏡山・雪野山	雪稜			
		27	比良雪見山行 八雲ヶ原	ちご			
31-4	北海道十勝岳スキー(スキーネット)						
2			2	3	湖東・猪子山	山友	
				3	黒山・岩尾山	雪稜	
				3	清滝山	ちご	
	7	代表者会、第13回理事会					
	9-11	妙高山スキー・ゲレンデスキー(スキーネット)					
	17	雪崩講習会 大日が岳(スキーネット)		16	ダイヤモンドトレイル(杉尾峠～岩湧山)	彷徨	
				17	第40回定期総会	雪稜	
				23	ミーティング	岳友	
		24	田上 猪背山	ちご			
		28	ミーティング	彷徨			

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先(1月号は2018年12月15日〆切)
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿は **B5** サイズ、フォント **10.5~12** で、使用する写真は
200KB 以内としてください。皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース12月号」 No.497

発行日:2018年11月21日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行(店名 418)

<http://shigarousan.jimodo.com/>

普通 0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子